

令和6年度

---

座間市財務書類

 座間市

## 目 次

1	はじめに	1
2	地方公会計制度の概要	2
	(1) 官庁会計と企業会計	
	(2) 単式簿記と複式簿記	
	(3) 現金主義会計と発生主義会計	
	(4) 統一的な基準による財務書類	
3	対象となる会計の範囲及び作成基準日	4
	(1) 作成単位	
	(2) 対象となる会計	
	(3) 作成基準日	
4	財務書類4表の概要	6
	(1) 貸借対照表	
	(2) 行政コスト計算書	
	(3) 純資産変動計算書	
	(4) 資金収支計算書	
5	財務書類4表の相互関係	10
6	座間市の財務書類4表の概要	11
	(1) 貸借対照表	
	(2) 行政コスト計算書	
	(3) 純資産変動計算書	
	(4) 資金収支計算書	

7 経年比較	15
8 座間市の財政指標	17
9 座間市の財務書類4表（一般会計等）	19

貸借対照表  
 行政コスト計算書  
 純資産変動計算書  
 資金収支計算書

10 座間市の財務書類4表（全体会計）	23
---------------------	----

貸借対照表  
 行政コスト計算書  
 純資産変動計算書  
 資金収支計算書

11 座間市の財務書類4表（連結会計）	27
---------------------	----

貸借対照表  
 行政コスト計算書  
 純資産変動計算書  
 資金収支計算書

**【注】**

- (1) 計数については、各項目とも表示単位未満を四捨五入しているため、表中の内訳と合計額、項目間の差額、割合等が一致しない場合があります。
- (2) 数字を表す欄において、四捨五入した結果、表示単位未満に端数がある場合は「0」とし、端数がない場合は「―」と表記しています。
- (3) 市民1人あたりの指標では、令和7年3月末の住民基本台帳人口（131,329人）により算出しています。

## 1 はじめに

本市の会計は、会計年度における現金の収入と支出の流れを記録し、予算の適正かつ確実な執行に資する現金主義会計により、毎年度、歳入歳出決算書を作成し、市議会での審議、認定等をいただきながら、市民の皆様にお知らせしてきております。

また、近年の地方公共団体の厳しい財政状況の中で、財政の効率化・適正化を図り、財政の透明性を高めるため、歳入歳出決算書を補完するものとして、民間企業において用いられている発生主義会計により「財務書類」を作成し、歳入歳出決算書とは別の視点から、市民の皆様へ多様な決算情報をお知らせしてまいります。

財務書類の整備については、平成18年5月に「新地方公会計制度研究会報告書」が公表され、同年8月に「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」により地方公会計改革が打ち出され、人口3万人以上の都市については、3年後の平成21年を目途に普通会計及び連結の財務書類4表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成及び公表に取り組むよう方針が示されました。

本市では、平成17年度決算から旧総務省方式に基づく貸借対照表を作成していましたが、財務情報の正確な把握と開示のため、平成20年度決算から「総務省基準モデル」により財務書類4表を作成し、公表してきました。

平成28年度決算からは、総務省の要請により、平成27年1月に示された「統一的な基準による地方公会計マニュアル（令和元年8月改訂）」に基づき財務書類を作成しており、本書は、令和6年度財務書類作成の経過、内容の説明及び財務書類一式をまとめたものです。

## 2 地方公会計制度の概要

### (1) 官庁会計と企業会計

市の会計（官庁会計）と民間企業の会計（企業会計）の主な違いは、次のとおりです。

項目	官庁会計	企業会計
簿記方式	単式簿記	複式簿記
認識基準	現金主義会計	発生主義会計
出納整理期間	あり	なし
決算書類	歳入歳出決算書 歳入歳出決算事項別明細書 実質収支に関する調書 財産に関する調書	貸借対照表 損益計算書 株主資本等変動計算書 キャッシュ・フロー計算書

### (2) 単式簿記と複式簿記

簿記とは、「特定の経済主体の活動を、貨幣単位といった一定のルールに従って帳簿に記録する手続き」であり、決算書等を作成するための方法です。簿記方式は、次のとおり「単式簿記」と「複式簿記」に区分されます。

簿記方式	内容
単式簿記	決裁取引の記帳を現金の収入・支出として、一面的に行う簿記の手法（官庁会計）
複式簿記	経済取引の記帳を借方と貸方に分けて、二面的に行う簿記の手法（企業会計）

### (3) 現金主義会計と発生主義会計

会計とは、「経済主体が行う取引を認識（いつ記録するか）・測定（いくらで記録するか）した上で、帳簿に記録し、報告書を作成する一連の手続き」をいいます。取引の認識基準の考え方は、次のとおり「現金主義会計」と「発生主義会計」があります。

認識基準	内容
現金主義会計	現金の収支に着目した会計処理原則（官庁会計）で、現金収支という客観的な情報に基づくため、適正な出納管理が可能だが、現金支出を伴わないコスト（減価償却費等）の把握が困難
発生主義会計	経済事象の発生に着目した会計処理原則（企業会計）で、現金支出を伴わないコスト（減価償却費等）の把握が可能

### (4) 統一的な基準による財務書類

統一的な基準による財務書類は、「今後の新地方公会計の推進に関する研究会報告書」（平成 26 年 4 月 30 日公表）等のおり「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」及び「資金収支計算書」の 4 表又は 3 表（上記の 4 表のうち「行政コスト計算書」と「純資産変動計算書」を結合）としています。概要は次のとおりです。

財務書類名	内容
貸借対照表 略称：B S（Balance Sheet）	基準日時点における財政状態（資産・負債・純資産の残高及び内訳）を表示したもの
行政コスト計算書 略称：P L（Profit and Loss statement）	一会計期間中の費用・収益の取引高を表示したもの
純資産変動計算書 略称：N W（Net Worth statement）	一会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したもの
資金収支計算書 略称：C F（Cash Flow statement）	一会計期間中の現金の受払いを 3 つの区分で表示したもの

### 3 対象となる会計の範囲及び作成基準日

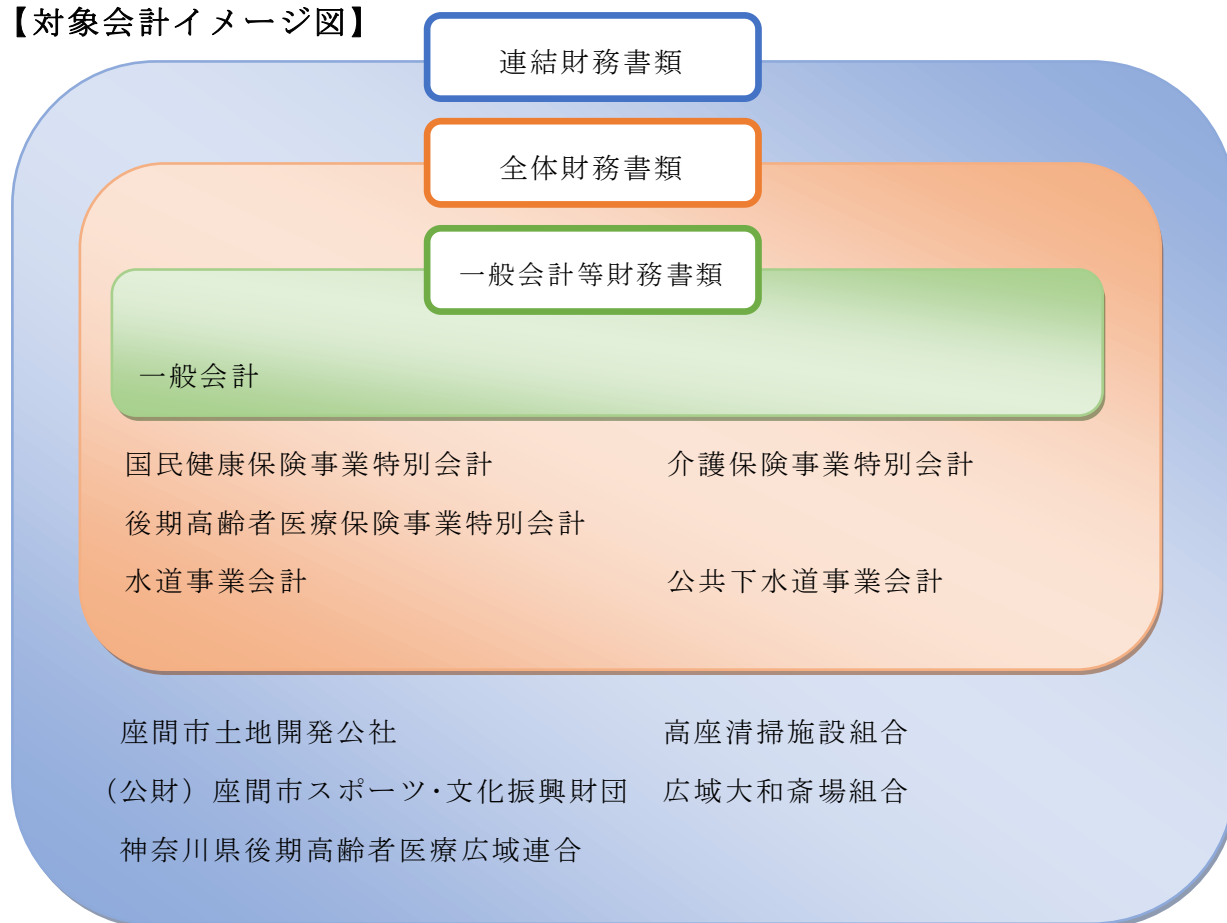
#### (1) 作成単位

- 一般会計等
- 全体会計
- 連結会計

#### (2) 対象となる会計

本市では、一般会計のほか、3つの特別会計、公営企業会計では水道事業会計、公共下水道事業会計、地方三公社、一部事務組合、広域連合及び公益財団法人といった関連団体の会計を対象に、財政状態や行政コストを明らかにすることを目的に、一般会計、特別会計及び公営企業会計などについては全体ベースの財務書類を作成し、さらに地方三公社などの関連団体を含めた連結ベースの財務書類を作成しています。

#### 【対象会計イメージ図】



(3) 作成基準日

作成基準日は、会計年度末の令和7年3月31日とし、令和7年4月1日から令和7年5月31日までの出納整理期間中の収支については、作成基準日までに終了したものとして処理しています。

## 4 財務書類4表の概要

### (1) 貸借対照表 (Balance Sheet)

年度末(令和7年3月31日)時点で、地方公共団体がどのような資産を保有し、その資産がどのような財源で賄われているかを表している財務書類です。

貸借対照表は、「資産の部」、「負債の部」及び「純資産の部」に区分して表示します。表の左側の「資産」は、市が保有している道路、公園、市営住宅などの固定資産や、現金預金、基金、貸付金などの残高を表しており、表の右側の「負債」は、主に市債の残高などで、将来世代の負担を表しています。「資産」から「負債」を差し引いたものが「純資産」で、過去から現在までの世代の負担を表しています。

資産、負債及び純資産は、総額によって表示することを原則とし、資産項目と負債または純資産の項目とを相殺することによって、その全部または一部を除くことはしていません。

貸借対照表		
資産		負債
土地、建物、現金など	固定資産	固定負債
	有形固定資産	地方債
	事業用資産	長期未払金
庁舎、保育所、市営住宅、学校など	インフラ資産	退職手当引当金
	物品	損失補償等引当金
道路、公園など	無形固定資産	その他
	ソフトウェア	流動負債
	その他	1年内償還予定地方債
	投資その他の資産	未払金
	投資及び出資金	未払費用
市税等の収入未済額のうち、1年以上経過したもの	長期延滞債権	前受金
	長期貸付金	前受収益
	基金	賞与等引当金
	その他	預り金
	徴収不能引当金	その他
	流動資産	<b>純資産</b>
	現金預金	固定資産等形成分
市税等の収入未済額のうち、1年以内に発生したもの	未収金	余剰分(不足分)
	短期貸付金	
	棚卸資産	
	その他	
	徴収不能引当金	

地方債、退職手当引当金など、将来の世代が負担する債務

市が発行した地方債のうち、償還予定が1年超のもの

資産と負債の差額で、過去から現在までの世代が負担してきた資産

(減価償却累計額控除後の)固定資産等の残高

市の費消可能な資源の蓄積をいい、原則として、金銭の形態で保有されているもの

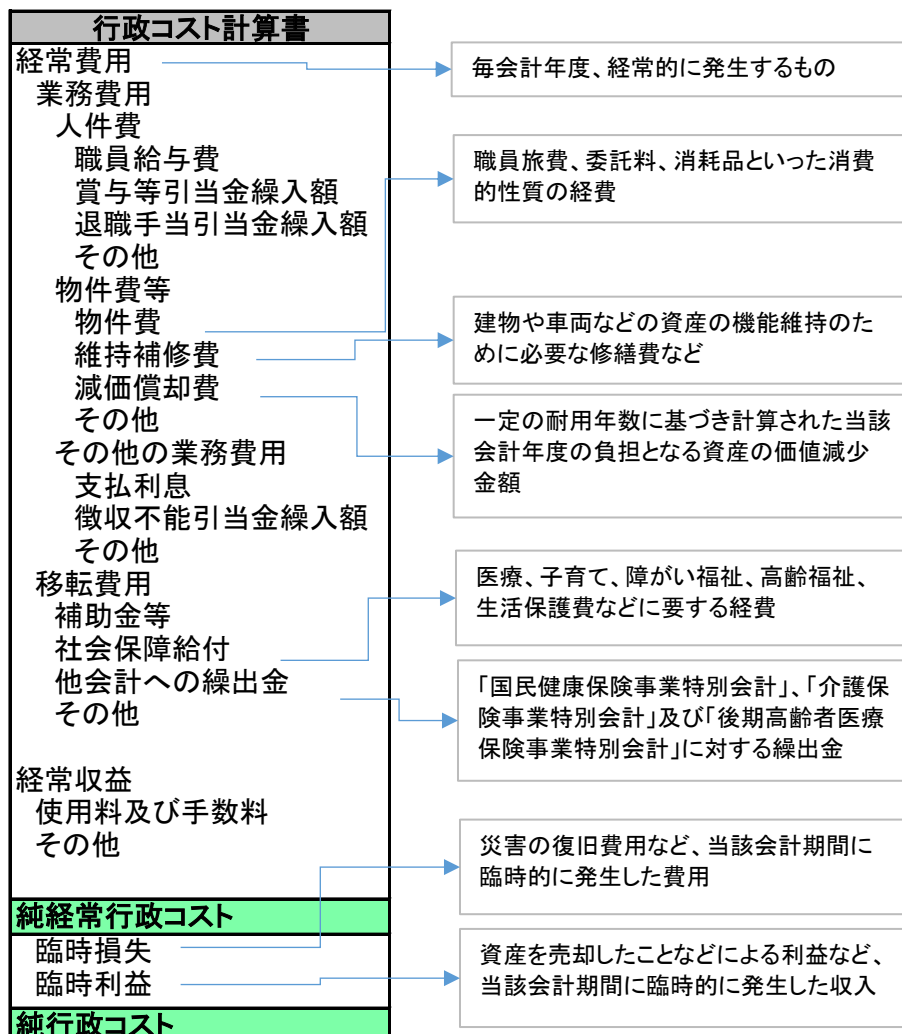
## (2) 行政コスト計算書 (Profit and Loss statement)

会計期間中における地方自治体の費用・収益の取引高を明らかにすることを目的としています。

1年間の行政活動のうち、人件費や補助金の給付など資産形成に結びつかない行政活動に要した費用とその行政活動に係る使用料、手数料などの収益を対比させた財務書類です。

行政コスト計算書は、「経常費用」、「経常収益」、「臨時損失」及び「臨時利益」に区分して表示します。経常費用には、公共施設などの建設、改修、その他の整備を除く福祉、教育、産業振興、消防などの行政サービスに要した経費を計上しています。経常収益には、施設使用料などの行政サービスに対する使用料、手数料などを計上しています。現金主義会計により作成される「歳入歳出決算書」では把握されない減価償却費などの非現金コストについても計上しています。

費用及び収益は、総額によって表示することを原則とし、費用の項目と収益の項目とを直接に相殺することによって、その全部または一部を除くことはしていません。

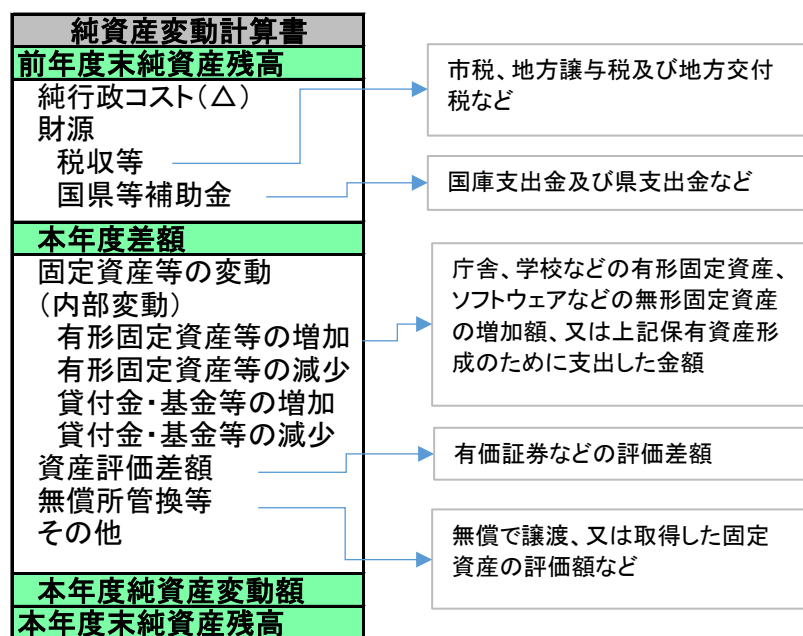


### (3) 純資産変動計算書 (Net Worth statement)

会計期間中の地方公共団体の純資産の変動、すなわち政策形成上の意思決定またはその他の事象による純資産及びその内部構成の変動(その他の純資産減少原因・財源及びその他の純資産増加原因の取引高)を明らかにすることを目的としています。

貸借対照表の資産と負債の差額である純資産が1年間にどのような要因で増減しているかを表している財務書類です。住民の持分である純資産がいくら増減したかがわかります。

純資産変動計算書は、「純行政コスト」、「財源」、「固定資産等の変動(内部変動)」、「資産評価差額」、「無償所管換等」及び「その他」に区分して表示します。「純行政コスト」に計上した計数は、「行政コスト計算書」の「純行政コスト」に計上した計数と同数になります。

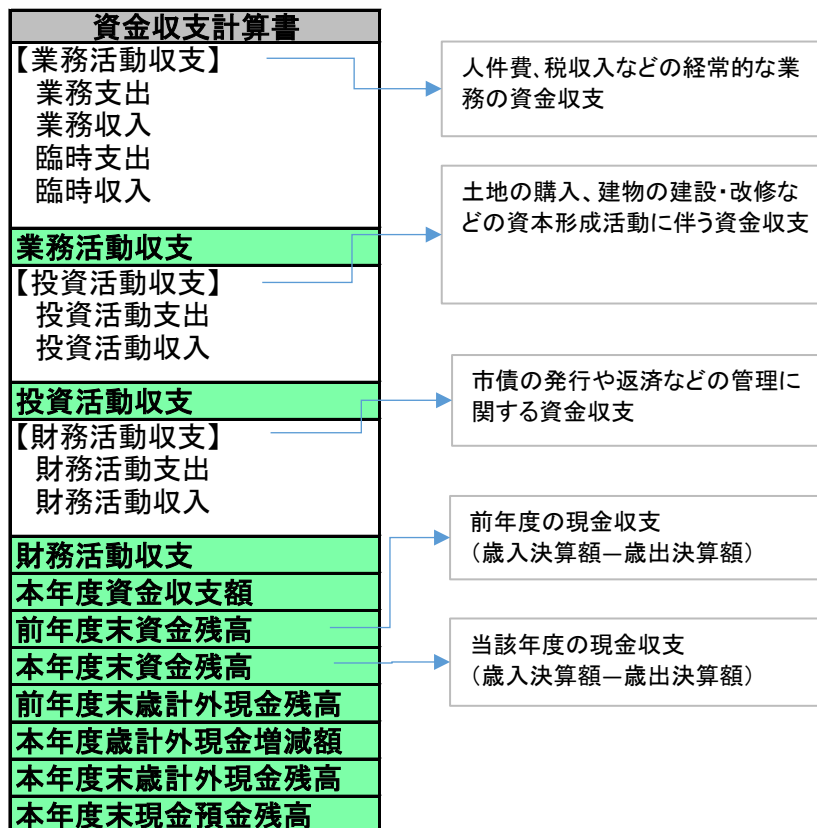


#### (4) 資金収支計算書(Cash Flow statement)

地方公共団体の資金収支の状態、すなわち地方公共団体の内部者(首長、議会、補助機関等)の活動に伴う資金利用状況及び資金獲得能力を明らかにすることを目的とし、実際の資金の流れや資金の調達状況を把握することができます。

資金収支計算書は、「業務活動収支」、「投資活動収支」及び「財務活動収支」の3つの区分により表示します。1年間の行政活動に伴う現金等の資金の流れを性質の異なる3つの区分に分けて表している財務書類です。

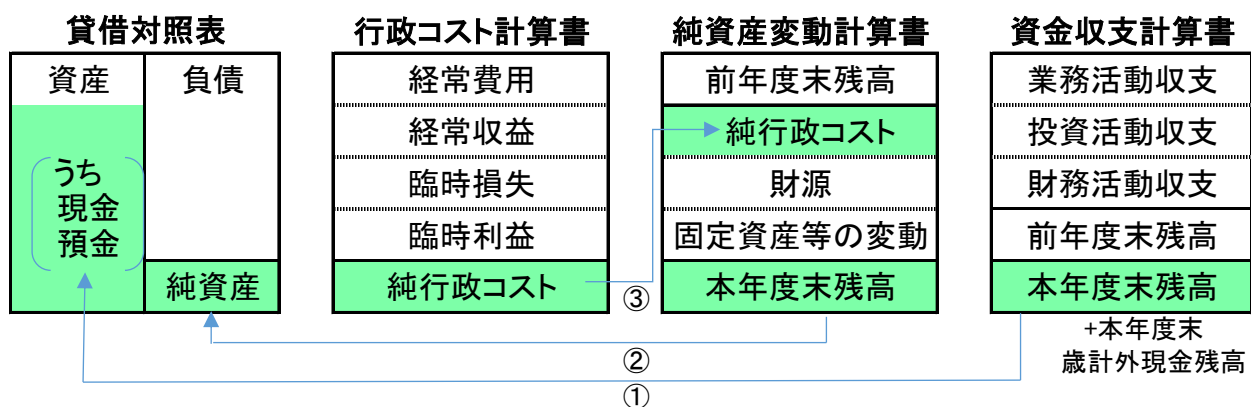
現金の動きに特化した表の構成となっているため、財務4表の中で官庁会計に最も近い表になっており、表中の「本年度末資金残高」は、歳入歳出決算書の対象となる会計の形式収支の合計と一致します。



## 5 財務書類4表の相互関係

財務書類4表の相互関係は、次のとおりです。

年度末時点の情報を表す貸借対照表と、年度内の動きを表す行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書は、それぞれが相互に関連しています。



- ① 貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の「本年度末残高」に本年度末歳計外現金残高を足したものと対応します。
- ② 貸借対照表の「純資産」の金額は、純資産変動計算書の「本年度末残高」と対応します。
- ③ 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。

## 6 座間市の財務書類4表の概要

### (1) 貸借対照表（令和7年3月31日現在）

（単位：億円）

【資産の部】	一般会計等	全体会計	【負債の部】	一般会計等	全体会計
<b>1. 固定資産</b>	<b>1,261</b>	<b>1,791</b>	<b>1. 固定負債</b>	<b>253</b>	<b>517</b>
有形固定資産	1,246	1,738	地方債等	200	302
事業用資産	688	688	退職手当引当金	51	51
インフラ資産	553	1,030	その他	2	164
物品	5	20			
無形固定資産	0	16	<b>2. 流動負債</b>	<b>34</b>	<b>51</b>
投資その他の資産	15	37	1年内償還予定地方債	25	36
			賞与等引当金	6	6
			その他	3	9
<b>2. 流動資産</b>	<b>69</b>	<b>106</b>			
現金預金	27	53	<b>負債合計</b>	<b>287</b>	<b>568</b>
基金	38	41			
その他	4	12	<b>純資産</b>	<b>1,043</b>	<b>1,329</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,897</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,897</b>

○ 令和6年度末までに座間市が形成した将来世代に引き継ぐ資産の総額は、全体会計で1,897億円です。そのうち、過去から現在までの世代が負担してきた純資産は1,329億円になり、将来世代が負担していくことになる負債は568億円です。

○ 資産のうち、有形固定資産は1,738億円で、全体の92%と大部分を占めています。そのうち、市立小中学校、市営住宅などの事業用資産が688億円で、インフラ資産が1,030億円です。

最も大きな割合を占めるインフラ資産は、全体の54%を占めています。本市がこれまで形成してきた資産の多くは、道路・橋りょう・公園・水道設備などの住民生活に身近なまちづくりの基盤となるインフラ資産であることがわかります。

○ 負債のうち市債残高は全体の60%、338億円になりました。一般会計等の市債残高のうち、臨時財政対策債が全体の約62%を占めています。

○ それぞれの項目を市民1人あたりに換算すると、資産が144万円、負債が43万円、純資産が101万円です。

(2) 行政コスト計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：億円)

	一般会計等	全体会計
<b>1. 経常費用</b>	<b>458</b>	<b>715</b>
業務費用	215	267
人件費	92	98
物件費等	116	158
その他の業務費用	7	11
移転費用	243	448
補助金等	56	294
社会保障給付	154	154
その他	33	0
<b>2. 経常収益</b>	<b>16</b>	<b>51</b>
使用料及び手数料	4	34
その他	12	17
<b>純経常行政コスト</b>	<b>442</b>	<b>664</b>
<b>1. 臨時損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>2. 臨時利益</b>	<b>2</b>	<b>2</b>
<b>純行政コスト</b>	<b>440</b>	<b>662</b>

○ 業務費用のうち、主なものは、職員給与などの人件費、公共施設の減価償却費などになります。移転費用のうち、主なものは、市民や他団体などへの補助金、生活保護費、障がい福祉費、保育などの子育て支援関連経費になります。

○ 経常費用から、公共施設の使用料や住民票、印鑑証明の発行手数料などの経常収益を差し引いた金額が、純経常行政コストです。純経常行政コストに、臨時損失、臨時利益を含めた金額が、純行政コストになります。

○ 「行政コスト計算書」は、企業会計でいう「損益計算書」に相当するものですが、経常費用は、市民全体に対する行政サービスに要した費用を計上するのに対し、経常収益は、市税や国・県からの補助金などは計上せず、施設使用料等の行政サービスに対する使用料、手数料のみを計上しているため、純行政コストはプラスの表記となります。

○ 使用料や手数料などの受益者負担だけで賄いきれない純行政コストは、市税などの財源により補うことになります。

○ 全体会計の純行政コストを市民1人あたりに換算すると、50万円です。

(3) 純資産変動計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：億円)

	一般会計等	全体会計
前年度末残高	1,031	1,316
1. 純行政コスト	▲ 440	▲ 662
2. 財源	449	672
税収	304	407
国県等補助金	145	265
本年度差額	9	10
1. 固定資産等の変動	-	-
2. その他	3	3
本年度純資産変動額	12	13
本年度末純資産残高	1,043	1,329

○ 行政コスト計算書により算出された純行政コストから、税収や国県等補助金の財源を差し引いた本年度差額は、全体会計で10億円の資金余剰となりました。

○ 差額である10億円の資金余剰は、当年度の行政活動に要した純行政コストを、当年度の市税、国・県等補助金の財源で補えたことを表しており、純資産が昨年より増加したことを表しています。

(4) 資金収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：億円)

	一般会計等	全体会計
<b>1. 業務活動収支</b>	<b>34</b>	<b>50</b>
業務支出	427	660
業務収入	461	710
<b>2. 投資活動収支</b>	<b>▲ 27</b>	<b>▲ 36</b>
投資活動支出	59	73
投資活動収入	32	37
<b>3. 財務活動収支</b>	<b>▲ 9</b>	<b>▲ 17</b>
財務的支出	26	40
財務的収入	17	23
<b>本年度資金収支額</b>	<b>▲ 2</b>	<b>▲ 3</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>26</b>	<b>54</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>24</b>	<b>51</b>

○ 令和6年度の全体会計の本年度資金収支額は、3億円の減少となりました。その結果、本年度末現金預金残高は51億円になりました。

○ 業務活動収支は、日常の行政サービスの実施に要する収入と支出のほか、「投資活動」及び「財務活動」以外の取引による現金収支を表しています。

本年度は、人件費や物件費等の日常的な行政サービス提供のための支出660億円に対して、市民税や固定資産税をはじめとした税収等の収入が710億円あり、50億円の資金余剰となりました。

○ 投資活動収支は、固定資産の売却による収入や固定資産の取得のための支出などによる現金の収支を表しています。

本年度は、公共施設の改修等による資産形成のための支出73億円に対して、その財源である国県等補助金収入や基金取崩収入が37億円あり、36億円の収支不足となりました。

○ 財務活動収支は、市債の発行による収入や市債の返済のための支出などによる現金の収支を表しています。

本年度は、地方債の償還支出40億円に対して、地方債の借入れによる収入が23億円あり、17億円の資金不足になりました。これは、市が新たに借り入れた額が返済した額より少ないことを意味しています。後年度負担の関係では将来の世代の負担が減少したことを示しています。

## 7 経年比較

### (1) 貸借対照表 【一般会計等】

(単位：億円)

【資産の部】	令和6年度	令和5年度	増減額	【負債の部】	令和6年度	令和5年度	増減額
<b>1. 固定資産</b>	<b>1,261</b>	<b>1,266</b>	<b>▲ 5</b>	<b>1. 固定負債</b>	<b>253</b>	<b>261</b>	<b>▲ 8</b>
有形固定資産	1,246	1,248	▲ 2	地方債等	200	208	▲ 8
事業用資産	688	691	▲ 3	退職手当引当金	51	51	0
インフラ資産	553	553	0	その他	2	2	0
物品	5	4	1				
無形固定資産	0	0	0	<b>2. 流動負債</b>	<b>34</b>	<b>32</b>	<b>2</b>
投資その他の資産	15	18	▲ 3	1年内償還予定地方債	25	26	▲ 1
				賞与等引当金	6	6	0
				その他	3	1	2
<b>2. 流動資産</b>	<b>69</b>	<b>58</b>	<b>11</b>	<b>負債合計</b>	<b>287</b>	<b>293</b>	<b>▲ 6</b>
現金預金	27	27	0	<b>純資産</b>	<b>1,043</b>	<b>1,031</b>	<b>12</b>
基金	38	28	10				
その他	4	3	1	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,324</b>	<b>6</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,324</b>	<b>6</b>				

### 【全会計】

(単位：億円)

【資産の部】	令和6年度	令和5年度	増減額	【負債の部】	令和6年度	令和5年度	増減額
<b>1. 固定資産</b>	<b>1,791</b>	<b>1,801</b>	<b>▲ 10</b>	<b>1. 固定負債</b>	<b>517</b>	<b>531</b>	<b>▲ 14</b>
有形固定資産	1,738	1,744	▲ 6	地方債等	302	315	▲ 13
事業用資産	688	691	▲ 3	退職手当引当金	51	51	0
インフラ資産	1,030	1,033	▲ 3	その他	164	165	▲ 1
物品	20	20	0				
無形固定資産	16	16	0	<b>2. 流動負債</b>	<b>51</b>	<b>50</b>	<b>1</b>
投資その他の資産	37	41	▲ 4	1年内償還予定地方債	36	38	▲ 2
				賞与等引当金	6	6	0
				その他	9	6	3
<b>2. 流動資産</b>	<b>106</b>	<b>96</b>	<b>10</b>	<b>負債合計</b>	<b>568</b>	<b>581</b>	<b>▲ 13</b>
現金預金	53	55	▲ 2	<b>純資産</b>	<b>1,329</b>	<b>1,316</b>	<b>13</b>
基金	41	31	10				
その他	12	10	2	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,897</b>	<b>1,897</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,897</b>	<b>1,897</b>	<b>0</b>				

※ 表中の金額は、四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## (2) 行政コスト計算書

(単位：億円)

	一般会計等			全体会計		
	令和6年度	令和5年度	増減額	令和6年度	令和5年度	増減額
<b>1. 経常費用</b>	<b>458</b>	<b>458</b>	<b>0</b>	<b>715</b>	<b>706</b>	<b>9</b>
業務費用	215	221	▲ 6	267	269	▲ 2
人件費	92	86	6	98	91	7
物件費等	116	125	▲ 9	158	163	▲ 5
その他の業務費用	7	10	▲ 3	11	14	▲ 3
移転費用	243	237	6	448	437	11
補助金等	56	62	▲ 6	294	294	0
社会保障給付	154	143	11	154	143	11
その他	33	31	2	0	0	0
<b>2. 経常収益</b>	<b>16</b>	<b>14</b>	<b>2</b>	<b>51</b>	<b>47</b>	<b>4</b>
使用料及び手数料	4	4	0	34	31	3
その他	12	10	2	17	16	1
<b>純経常行政コスト</b>	<b>442</b>	<b>444</b>	<b>▲ 2</b>	<b>664</b>	<b>659</b>	<b>5</b>
1. 臨時損失	0	0	0	0	1	▲ 1
2. 臨時利益	2	0	2	2	0	2
<b>純行政コスト</b>	<b>440</b>	<b>444</b>	<b>▲ 4</b>	<b>662</b>	<b>660</b>	<b>2</b>

※ 表中の金額は、四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## (3) 純資産変動計算書

(単位：億円)

	一般会計等			全体会計		
	令和6年度	令和5年度	増減額	令和6年度	令和5年度	増減額
<b>前年度末純資産残高</b>	<b>1,031</b>	<b>1,031</b>	<b>0</b>	<b>1,316</b>	<b>1,318</b>	<b>▲ 2</b>
<b>1. 純行政コスト</b>	<b>▲ 440</b>	<b>▲ 444</b>	<b>4</b>	<b>▲ 662</b>	<b>▲ 660</b>	<b>▲ 2</b>
<b>2. 財源</b>	<b>449</b>	<b>443</b>	<b>6</b>	<b>672</b>	<b>658</b>	<b>14</b>
税収等	304	284	20	407	379	28
国県等補助金	145	159	▲ 14	265	280	▲ 15
<b>本年度差額</b>	<b>9</b>	<b>▲ 1</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>▲ 1</b>	<b>11</b>
<b>1. 固定資産等の変動</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>0</b>
<b>2. その他</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>▲ 1</b>	<b>4</b>
<b>本年度純資産変動額</b>	<b>12</b>	<b>▲ 1</b>	<b>13</b>	<b>13</b>	<b>▲ 2</b>	<b>15</b>
<b>本年度末純資産残高</b>	<b>1,043</b>	<b>1,031</b>	<b>12</b>	<b>1,329</b>	<b>1,316</b>	<b>13</b>

※ 表中の金額は、四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## (4) 資金収支計算書

(単位：億円)

	一般会計等			全体会計		
	令和6年度	令和5年度	増減額	令和6年度	令和5年度	増減額
<b>1. 業務活動収支</b>	<b>34</b>	<b>32</b>	<b>2</b>	<b>50</b>	<b>46</b>	<b>4</b>
業務支出	427	423	4	660	648	12
業務収入	461	455	6	710	694	16
<b>2. 投資活動収支</b>	<b>▲ 27</b>	<b>▲ 8</b>	<b>▲ 19</b>	<b>▲ 36</b>	<b>▲ 11</b>	<b>▲ 25</b>
投資活動支出	59	33	26	73	46	27
投資活動収入	32	25	7	37	35	2
<b>3. 財務活動収支</b>	<b>▲ 9</b>	<b>▲ 22</b>	<b>13</b>	<b>▲ 17</b>	<b>▲ 30</b>	<b>13</b>
財務的支出	26	27	▲ 1	40	40	0
財務的収入	17	5	12	23	10	13
<b>本年度資金収支額</b>	<b>▲ 2</b>	<b>1</b>	<b>▲ 3</b>	<b>▲ 3</b>	<b>5</b>	<b>▲ 8</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>1</b>	<b>54</b>	<b>48</b>	<b>6</b>
<b>経費負担割合変更に伴う差額</b>			<b>0</b>			<b>0</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>24</b>	<b>26</b>	<b>▲ 2</b>	<b>51</b>	<b>54</b>	<b>▲ 3</b>

※ 表中の金額は、四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## 8 座間市の財政指標

指標名	年度	一般会計等	全体会計
<b>(1) 純資産比率</b> 資産に占める返済義務のない純資産(過去から現在までの世代が負担してきた資産)の割合を示す比率で、世代間の負担の公平性をはかる指標の1つです。 この指標が高いほど、財政状況が健全であるといえます。 <b>【BS】純資産合計 / 【BS】資産合計</b>	R6	78.4%	70.1%
	R5	77.9%	69.4%
<b>(2) 社会資本形成の世代間比率</b> これまで整備してきた建物や道路などの社会資本が、過去から現在までの世代の負担によってどれくらい形成されたかを示しています。 この指標が低いほど、過去から現在までの世代が社会資本形成を負担してきたことになり、将来世代への負担が少なくなるといえます。 <b>【BS】地方債+【BS】1年内償還予定地方債 / 【BS】有形固定資産+【BS】無形固定資産</b>	R6	18.0%	19.3%
	R5	18.7%	20.1%
<b>(3) 負債比率</b> 純資産に対する負債の割合を示す比率です。 資産形成における財源の内訳における負債の割合を示し、この指標が低いほど財政状況が健全であるといえます。 <b>【BS】負債 / 【BS】純資産</b>	R6	27.5%	42.7%
	R5	28.4%	44.2%

指標名	年度	一般会計等	全体会計
<p>(4) 受益者負担割合</p> <p>行政サービスに対する受益者負担の割合を示します。</p> <p>受益者負担の割合が低いほど、市税、国・県などの補助金により、行政サービスに要する経費を補っているといえます。</p> <p><b>【PL】経常収益／【PL】経常費用</b></p>	R6	3.6%	7.1%
	R5	3.1%	6.7%
<p>(5) 有形固定資産減価償却率</p> <p>有形固定資産のうち、土地や立木竹、建設仮勘定といった非償却資産を除いた減価償却を行う償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合を示す比率です。</p> <p>耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているのかを把握することができます。100%に近いほど老朽化が進んでいるといえます。</p> <p><b>【BS】減価償却累計額／（【BS】有形固定資産－【BS】非償却資産＋【BS】減価償却累計額）</b></p>	R6	77.8%	72.3%
	R5	70.4%	60.4%

BS：貸借対照表

PL：行政コスト計算書

## 9 座間市の財務書類 4 表（一般会計等）

【様式第1号】

### 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

自治体名: 座間市  
会計: 一般会計等

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	126,109	固定負債	25,323
有形固定資産	124,569	地方債	19,983
事業用資産	68,775	長期未払金	-
土地	40,156	退職手当引当金	5,078
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	80,175	その他	262
建物減価償却累計額	-53,194	流動負債	3,352
工作物	2,047	1年内償還予定地方債	2,484
工作物減価償却累計額	-1,488	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	585
航空機	-	預り金	232
航空機減価償却累計額	-	その他	51
その他	-	負債合計	28,675
その他減価償却累計額	-	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	1,079	固定資産等形成分	129,899
インフラ資産	55,336	余剰分(不足分)	-25,608
土地	26,334		
建物	531		
建物減価償却累計額	-169		
工作物	93,487		
工作物減価償却累計額	-70,991		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	6,144		
物品	2,492		
物品減価償却累計額	-2,034		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	-		
その他	0		
投資その他の資産	1,540		
投資及び出資金	256		
有価証券	10		
出資金	246		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	615		
長期貸付金	1		
基金	732		
減債基金	-		
その他	732		
その他	-		
徴収不能引当金	-64		
流動資産	6,857		
現金預金	2,671		
未収金	423		
短期貸付金	0		
基金	3,789		
財政調整基金	3,789		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-26		
資産合計	132,966	純資産合計	104,291
		負債及び純資産合計	132,966

## 行政コスト計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

自治体名:座間市  
会計:一般会計等

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	45,845
業務費用	21,517
人件費	9,234
職員給与費	7,290
賞与等引当金繰入額	586
退職手当引当金繰入額	413
その他	945
物件費等	11,621
物件費	7,719
維持補修費	579
減価償却費	3,116
その他	207
その他の業務費用	662
支払利息	72
徴収不能引当金繰入額	38
その他	552
移転費用	24,328
補助金等	5,643
社会保障給付	15,426
他会計への繰出金	3,255
その他	4
経常収益	1,659
使用料及び手数料	388
その他	1,271
純経常行政コスト	44,186
臨時損失	3
災害復旧事業費	-
資産除売却損	3
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	191
資産売却益	191
その他	-
純行政コスト	43,998

## 純資産変動計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日自治体名:座間市  
会計:一般会計等

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	
前年度末純資産残高	103,069	129,380	-26,311	
純行政コスト(△)	-43,998		-43,998	
財源	44,860		44,860	
税収等	30,359		30,359	
国県等補助金	14,501		14,501	
本年度差額	862		862	
固定資産等の変動(内部変動)		159	-159	
有形固定資産等の増加		2,553	-2,553	
有形固定資産等の減少		-3,119	3,119	
貸付金・基金等の増加		3,737	-3,737	
貸付金・基金等の減少		-3,012	3,012	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	365	365		
その他	-6	-6	-	
本年度純資産変動額	1,221	518	703	
本年度末純資産残高	104,290	129,898	-25,608	

## 資金収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日自治体名:座間市  
会計:一般会計等

(単位:百万円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	42,657
業務費用支出	18,330
人件費支出	9,203
物件費等支出	8,505
支払利息支出	72
その他の支出	550
移転費用支出	24,327
補助金等支出	5,643
社会保障給付支出	15,425
他会計への繰出支出	3,255
その他の支出	4
業務収入	46,085
税収等収入	30,355
国県等補助金収入	14,260
使用料及び手数料収入	386
その他の収入	1,084
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	3,428
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	5,915
公共施設等整備費支出	2,467
基金積立金支出	3,398
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	50
その他の支出	-
投資活動収入	3,172
国県等補助金収入	241
基金取崩収入	2,689
貸付金元金回収収入	51
資産売却収入	191
その他の収入	-
投資活動収支	-2,743
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	2,604
地方債償還支出	2,565
その他の支出	39
財務活動収入	1,689
地方債発行収入	1,689
その他の収入	-
財務活動収支	-915
本年度資金収支額	-230
前年度末資金残高	2,628
本年度末資金残高	2,398
前年度末歳計外現金残高	119
本年度歳計外現金増減額	154
本年度末歳計外現金残高	273
本年度末現金預金残高	2,671

# 10 座間市の財務書類4表（全体会計）

【様式第1号】

## 連結貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

自治体名: 座間市  
会計: 全体会計

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	179,052	固定負債	51,629
有形固定資産	173,736	地方債等	30,182
事業用資産	68,775	長期未払金	-
土地	40,156	退職手当引当金	5,079
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	16,368
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	5,145
建物	80,175	1年内償還予定地方債等	3,613
建物減価償却累計額	-53,194	未払金	550
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	2,047	前受金	-
工作物減価償却累計額	-1,488	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	635
船舶	-	預り金	272
船舶減価償却累計額	-	その他	75
船舶減損損失累計額	-	<b>負債合計</b>	<b>56,774</b>
浮標等	-	<b>【純資産の部】</b>	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	183,111
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	-50,167
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	1,079		
インフラ資産	103,004		
土地	28,781		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,662		
建物減価償却累計額	-699		
建物減損損失累計額	-		
工作物	162,997		
工作物減価償却累計額	-95,887		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	6,150		
物品	7,248		
物品減価償却累計額	-5,291		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	1,602		
ソフトウェア	-		
その他	1,602		
投資その他の資産	3,714		
投資及び出資金	982		
有価証券	736		
出資金	246		
その他	-		
長期延滞債権	1,466		
長期貸付金	1		
基金	1,397		
減債基金	-		
その他	1,397		
その他	-		
徴収不能引当金	-132		
流動資産	10,666		
現金預金	5,347		
未収金	1,222		
短期貸付金	0		
基金	4,058		
財政調整基金	4,058		
減債基金	-		
棚卸資産	3		
その他	101		
徴収不能引当金	-65		
繰延資産	-	<b>純資産合計</b>	<b>132,944</b>
<b>資産合計</b>	<b>189,718</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>189,718</b>

【様式第2号】

# 連結行政コスト計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

自治体名:座間市

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	71,522
業務費用	26,654
人件費	9,836
職員給与費	7,750
賞与等引当金繰入額	627
退職手当引当金繰入額	414
その他	1,045
物件費等	15,786
物件費	9,512
維持補修費	855
減価償却費	5,204
その他	215
その他の業務費用	1,032
支払利息	235
徴収不能引当金繰入額	93
その他	704
移転費用	44,868
補助金等	29,422
社会保障給付	15,425
その他	21
経常収益	5,085
使用料及び手数料	3,412
その他	1,673
純経常行政コスト	66,437
臨時損失	3
災害復旧事業費	-
資産除売却損	3
損失補償等引当金繰入額	-
その他	0
臨時利益	198
資産売却益	195
その他	3
純行政コスト	66,242

## 連結純資産変動計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

自治体名:座間市

会計:全体会計

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	131,607	183,267	-51,660	-
純行政コスト(△)	-66,242		-66,242	-
財源	67,241		67,241	-
税収等	40,736		40,736	-
国県等補助金	26,505		26,505	-
本年度差額	999		999	-
固定資産等の変動(内部変動)		-494	494	
有形固定資産等の増加		4,170	-4,170	
有形固定資産等の減少		-5,230	5,230	
貸付金・基金等の増加		4,391	-4,391	
貸付金・基金等の減少		-3,826	3,826	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	364	364		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	-	-	-
その他	-26	-26	-	-
本年度純資産変動額	1,337	-156	1,493	-
本年度末純資産残高	132,944	183,111	-50,167	-

## 連結資金収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

自治体名:座間市

会計:全体会計

(単位:億円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	66,020
業務費用支出	21,151
人件費支出	9,799
物件費等支出	10,455
支払利息支出	247
その他の支出	650
移転費用支出	44,869
補助金等支出	29,422
社会保障給付支出	15,426
その他の支出	21
業務収入	71,048
税収等収入	39,950
国県等補助金収入	26,264
使用料及び手数料収入	3,335
その他の収入	1,499
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	0
臨時収入	3
業務活動収支	5,031
【投資活動収支】	
投資活動支出	7,261
公共施設等整備費支出	3,483
基金積立金支出	3,724
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	50
その他の支出	4
投資活動収入	3,643
国県等補助金収入	265
基金取崩収入	3,119
貸付金元金回収収入	51
資産売却収入	195
その他の収入	13
投資活動収支	-3,618
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,969
地方債等償還支出	3,905
その他の支出	64
財務活動収入	2,271
地方債等発行収入	2,271
その他の収入	-
財務活動収支	-1,698
本年度資金収支額	-285
前年度末資金残高	5,359
比例連結割合変更に伴う差額	-
本年度末資金残高	5,074
前年度末歳計外現金残高	119
本年度歳計外現金増減額	154
本年度末歳計外現金残高	273
本年度末現金預金残高	5,347

# 1 1 座間市の財務書類 4 表 (連結会計)

【様式第1号】

## 連結貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

自治体名:座間市  
会計:連結会計

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	182,740	固定負債	55,063
有形固定資産	177,240	地方債等	33,386
事業用資産	71,702	長期未払金	-
土地	40,962	退職手当引当金	5,309
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	16,368
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	5,674
建物	82,191	1年内償還予定地方債等	3,989
建物減価償却累計額	-54,153	未払金	585
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	7,505	前受金	3
工作物減価償却累計額	-5,891	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	657
船舶	-	預り金	364
船舶減価償却累計額	-	その他	76
船舶減損損失累計額	-	<b>負債合計</b>	<b>60,737</b>
浮標等	-	<b>【純資産の部】</b>	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	186,829
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	-53,481
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	1,088		
インフラ資産	103,578		
土地	29,229		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,662		
建物減価償却累計額	-699		
建物減損損失累計額	-		
工作物	162,997		
工作物減価償却累計額	-95,887		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	6,276		
物品	7,280		
物品減価償却累計額	-5,320		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	1,602		
ソフトウェア	0		
その他	1,602		
投資その他の資産	3,898		
投資及び出資金	782		
有価証券	736		
出資金	45		
その他	1		
長期延滞債権	1,467		
長期貸付金	1		
基金	1,780		
減債基金	-		
その他	1,780		
その他	-		
徴収不能引当金	-132		
流動資産	11,345		
現金預金	5,983		
未収金	1,228		
短期貸付金	0		
基金	4,089		
財政調整基金	4,089		
減債基金	-		
棚卸資産	3		
その他	108		
徴収不能引当金	-66		
繰延資産	-	<b>純資産合計</b>	<b>133,348</b>
<b>資産合計</b>	<b>194,085</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>194,085</b>

# 連結行政コスト計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

自治体名:座間市

会計:連結会計

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	87,727
業務費用	28,126
人件費	10,104
職員給与費	7,998
賞与等引当金繰入額	639
退職手当引当金繰入額	418
その他	1,049
物件費等	16,825
物件費	10,028
維持補修費	1,015
減価償却費	5,536
その他	246
その他の業務費用	1,197
支払利息	240
徴収不能引当金繰入額	93
その他	864
移転費用	59,600
補助金等	44,141
社会保障給付	15,425
その他	34
経常収益	5,341
使用料及び手数料	3,626
その他	1,715
純経常行政コスト	82,386
臨時損失	7,515
災害復旧事業費	-
資産除売却損	7,511
損失補償等引当金繰入額	-
その他	4
臨時利益	228
資産売却益	195
その他	33
純行政コスト	89,673

## 連結純資産変動計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

自治体名: 座間市

会計: 連結会計

(単位: 百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	140,012	194,858	-54,846	-
純行政コスト(△)	-89,674		-89,674	-
財源	83,206		83,206	-
税収等	47,762		47,762	-
国県等補助金	35,444		35,444	-
本年度差額	-6,468		-6,468	-
固定資産等の変動(内部変動)		-7,782	7,782	
有形固定資産等の増加		9,784	-9,784	
有形固定資産等の減少		-18,078	18,078	
貸付金・基金等の増加		4,465	-4,465	
貸付金・基金等の減少		-3,953	3,953	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	-46	-46		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-124	-175	51	-
その他	-26	-26	-	
本年度純資産変動額	-6,664	-8,029	1,365	-
本年度末純資産残高	133,348	186,829	-53,481	-

## 連結資金収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日自治体名:座間市  
会計:連結会計

(単位:百万円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	81,894
業務費用支出	22,296
人件費支出	10,061
物件費等支出	11,173
支払利息支出	252
その他の支出	810
移転費用支出	59,598
補助金等支出	44,138
社会保障給付支出	15,426
その他の支出	34
業務収入	87,135
税収等収入	46,971
国県等補助金収入	35,079
使用料及び手数料収入	3,548
その他の収入	1,537
臨時支出	414
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	414
臨時収入	3
業務活動収支	4,830
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	7,530
公共施設等整備費支出	3,678
基金積立金支出	3,762
投資及び出資金支出	36
貸付金支出	50
その他の支出	4
投資活動収入	3,897
国県等補助金収入	389
基金取崩収入	3,246
貸付金元金回収収入	50
資産売却収入	196
その他の収入	16
投資活動収支	-3,633
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	4,339
地方債等償還支出	4,275
その他の支出	64
財務活動収入	2,625
地方債等発行収入	2,623
その他の収入	2
財務活動収支	-1,714
本年度資金収支額	-517
前年度末資金残高	6,242
比例連結割合変更に伴う差額	-15
本年度末資金残高	5,710
前年度末歳計外現金残高	119
本年度歳計外現金増減額	154
本年度末歳計外現金残高	273
本年度末現金預金残高	5,983

令和6年度 座間市財務書類  
令和8年3月発行：座間市財務部財政課